



伊吹山頂上觀測所

中央氣象臺附屬國立伊吹山測候所の頂上觀測所は、海拔1,300餘メートルの別世界に此程鐵筋コンクリート造のモダン建築として新築された。平屋建塔屋付延30坪ほどの小さなものであるが、所内には自家發電裝置が施されてゐる外、暖房、浴場、防寒保溫設備等あり、地震計を設備し、山麓觀測所と連絡する爲有線電話の地下ケーブルを増設、無線電話機も備付け通信の萬全を期し、三合目の避難所は建坪3坪の堅牢なものに改築した上、風向、風速、濕度氣溫などの一週間巻自記計を設置し3段構として山頂山麓の觀測陣を固め、航空氣象界に完璧を誇る事となつた。工事は本年7月起工、11月末竣工の豫定で工費2萬餘圓、名古屋市北川組の請負である。寫眞は竣工近き山頂觀測所。